

Job総研による『2022年 夏ボーナス実態調査』を実施 コロナ禍前後で支給率 3.8%増加も平均支給額は 13 万円減少 ～ 物価高騰を背景に 7 割が回答したボーナスの使い道とは ～

キャリアや就職・転職全般に関する研究や各種調査を行う機関『Job 総研^(※1)』を運営する株式会社ライボ（本社:東京都渋谷区 代表取締役：小谷匠 以下「ライボ」）は、734 人の社会人男女を対象に「2022 年 夏ボーナス実態調査」を実施しました。同調査は今夏ボーナスの支給有無やその支給額の平均と中央値及び使い道、またコロナ禍前後での夏ボーナスの比較について調査しました。



【コロナ前後での夏ボーナス】

記録的な円安や物価高騰により日本経済に大きな影響を与える昨今、社会人の賃金推移停滞を始め今後の日本経済の動向が注目される中、2022年の夏ボーナスにはどのような影響が出ているのでしょうか。

2021年に実施したJob 総研調査^(※2)では、コロナ禍の影響を受けてボーナスの減額や廃止が7割を超える結果が出ています。それを受けてJob 総研では、コロナ禍前の2019年夏ボーナスからの推移を含め、今夏ボーナスの支給有無やその支給額及び、使い道や貯金に回す額などについて調査した「2022年 夏ボーナス実態調査」を実施しました。

【調査概要】

調査対象者	: 全国 / 男女 / 20～50代
調査条件	: 1年以内～10年以上勤務している社会人 20人～1000人以上規模の会社に所属
調査期間	: 2022年6月22日～6月27日
サンプル数	: 734人
調査方法	: インターネット調査

【TOPICS】

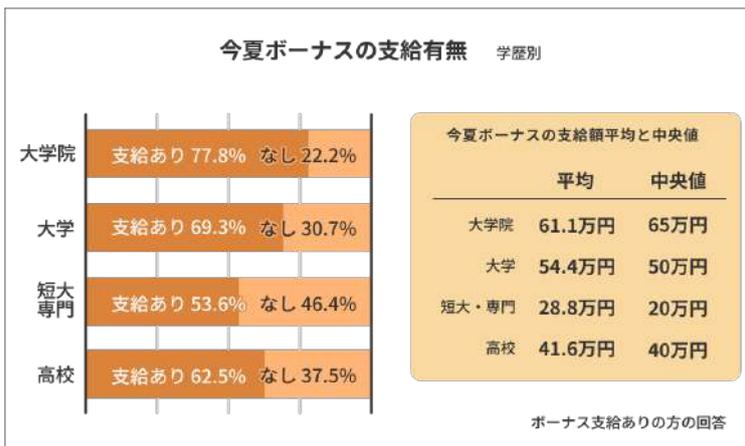
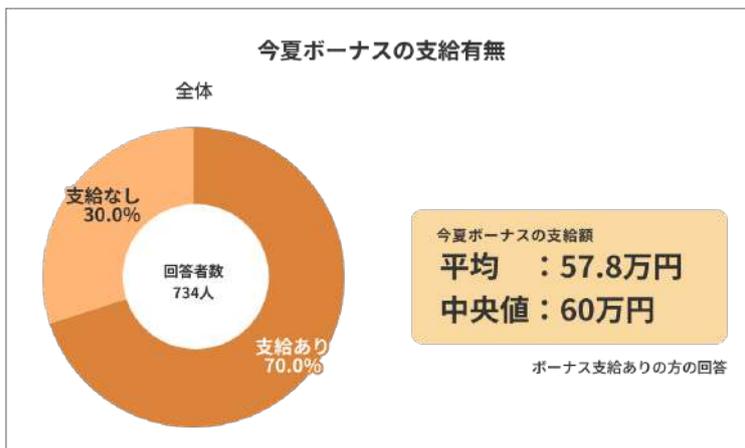
- ・全体の70.0%が「今夏ボーナスの支給あり」と回答
- ・今夏ボーナスの平均支給額は「57.8万円」 中央値は60万円
- ・最終学歴別でみる「支給あり」の率は大学院が最多で77.8% 平均支給額は61.1万円
- ・コロナ禍前の2019年と比較して今夏ボーナス支給率は8.3%上昇 平均支給額は13万円減少
- ・ボーナスの使い道は「貯金」が最多で、68.1%がボーナス額の「半分以上を貯金」と回答

【今夏ボーナスの支給有無と支給額】

今夏ボーナスの支給有無について、全体の70.0%が「支給あり」と回答し、その支給額の平均は57.8万円
で中央値は60万円という結果になりました。

また最終学歴別に今夏ボーナスの“支給有無”を見ていくと、“支給あり”の最多回答は「大学院卒」で
77.8%、次いで「大学卒」が69.3%、「高校卒」が62.5%の回答結果になり、支給ありの回答が最も低かつ
たのは「短大・専門卒」で53.6%でした。

同じく最終学歴別で今夏ボーナスの“支給額”を見ていくと、平均額で最も高かったのは「大学院卒」で61.1
万円、次いで「大学卒」54.4万円、「高校卒」41.6万円になり、最も平均支給額が低かったのは「短大・専
門卒」で28.8万円という回答結果になりました。平均支給額が最も高い大学院卒と短大・専門卒では19.5万
円の差がある結果となりました。

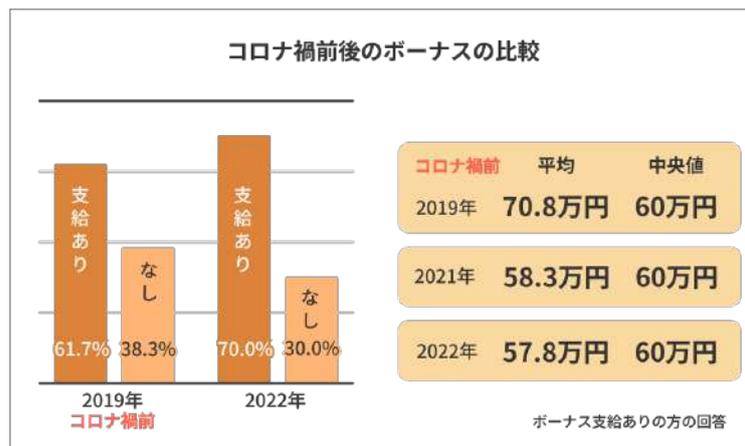


【コロナ禍前後の比較】

夏ボーナスの“支給有無”についてコロナ禍前後で比較すると、2019年夏ボーナスの「支給あり」が61.7%
に対して、今夏(2022年)ボーナスの「支給あり」は70.0%になり、8.3%上昇した回答結果になりました。

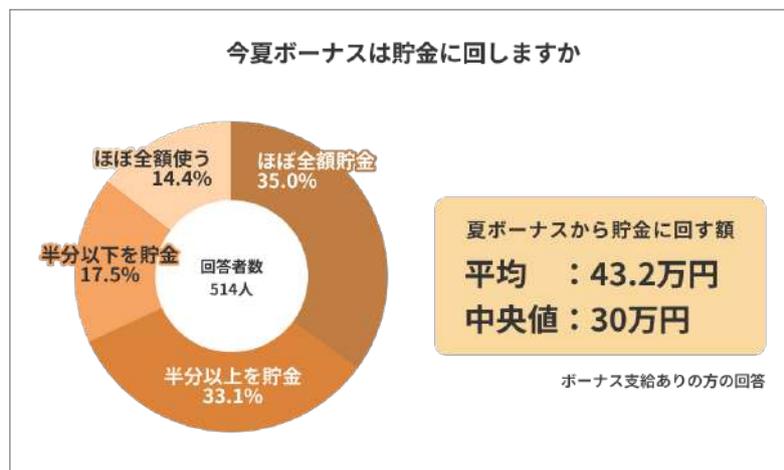
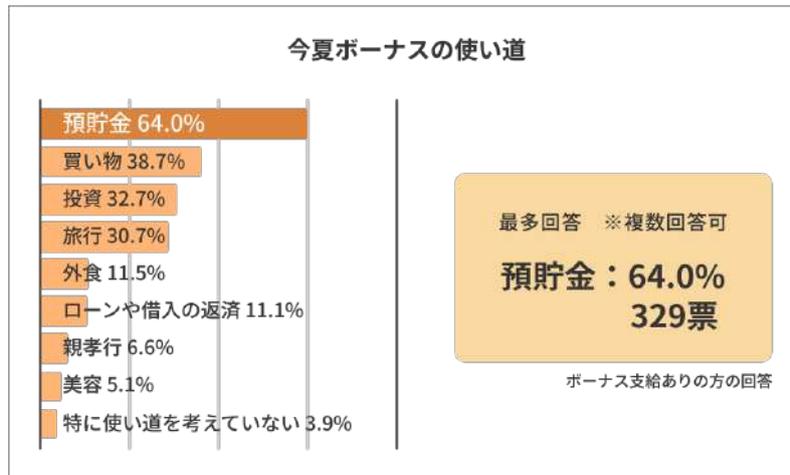
また“支給額”について見ていくと2019年夏のボーナス平均支給額は「70.8万円」に対して、今夏(2022
年)ボーナスの平均支給額は57.8万円になりました。

コロナ禍前の2019年夏と今夏ボーナスを比較すると、「支給あり」は上昇しているものの、「平均支給
額」は低下している回答結果になりました。



【今夏ボーナスの使い道】

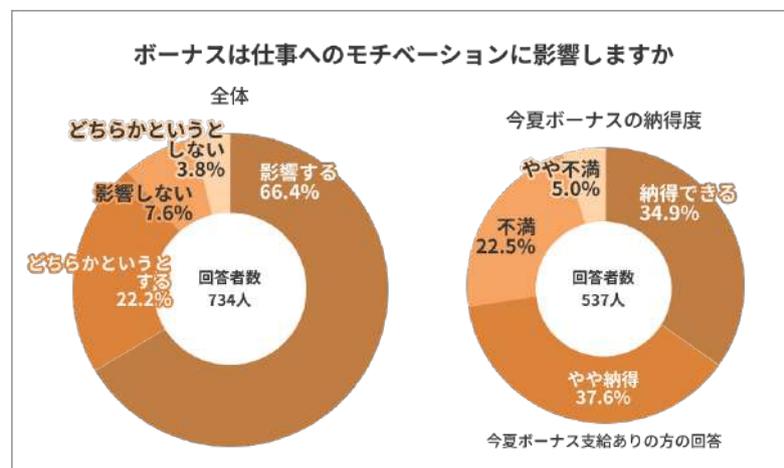
今夏ボーナスの使い道について聞くと「預貯金」が最多回答で64.0%、次いで「買い物」が38.7%、「投資」が32.7%で上位3つの回答になりました。また貯金に回す額について聞くと、「ほぼ全額貯金」が35.0%、「半分以上を貯金」が33.1%で、全体の68.1%が今夏ボーナスを半分以上貯金すると回答しました。貯金に回す具体的な金額についても聞くと、平均43.2万円の結果になりました。



【納得度とモチベーションへ影響】

ボーナスの有無によるモチベーションの影響について聞くと、「影響する」が66.4%と「どちらかというに影響する」22.2%を合算した88.6%が影響する派の回答をしました。

また今夏ボーナスの納得度については「納得できる」34.9%と「やや納得」37.6%を合算した72.5%が納得派の回答をする結果になりました。



※詳細は別紙の「2022年 夏ボーナス実態調査 報告書」をご参照ください^(※3)

【回答者コメント】

コロナ禍が影響したボーナス支給についての言及が顕著に見られるコメントでした。

- ・ 契約社員でボーナス支給なしです。正社員以外にも支給する企業が増えて欲しいと思う
- ・ コロナ禍で生活に不安もある中ボーナスが支給されるのはありがたいです
- ・ 良くも悪くもコロナの影響がなくボーナスが安定してもらえる会社の有り難さをここ2年ほどで感じた
- ・ コロナ禍で業績に変動はありましたが、「コロナ支援金」の名目でボーナスが出た
- ・ コロナの感染爆発真只中にはボーナスがカットされましたが、今年は支給されました

【調査まとめ】

今回実施した「2022年夏ボーナス実態調査」では、7割が今夏ボーナス「支給あり」と回答し、コロナ禍前の2019年夏ボーナスと比較して3.8%上昇する結果になりました。一方具体的な支給額では2019年と比較して13万円減少している回答結果から、コロナ禍に入りボーナス支給額を減少させて、“コロナ支援金”を名目にしたボーナス支給や一時金などを開始した企業により、支給率が上昇するも、支給額が減少した要因の1つとして推測できます。

またボーナスの使い道で「預貯金」が最多回答になり、7割の回答者が「半分以上を貯金に回す」という回答から、昨今の円安をはじめとする様々な要因による物価高騰の情勢を鑑み、消費に対して消極的になっているということも推測でき、不安定な日本経済に貯金を選択する回答が顕著に見られました。

ライボでは今後も就職・転職・働き方などに関連する様々な調査を実施し、リアルで透明度の高い情報を発信することで個が活躍する社会の実現を目指してまいります。

【※2】2021年夏ボーナス実態調査 報告書

2021年7月に実施した夏のボーナス実態調査の詳細をご確認いただけます

<https://job-q.me/articles/13388>

【※3】2022年夏ボーナス実態調査 報告書

報告書では同調査の属性や回答結果をより詳細にご確認いただけます

<https://job-q.me/articles/13684>

【※1】Job 総研について

Job 総研は就職・転職やキャリア全般に関する研究や各種調査の実施により、市場の現状と未来を分析し、社会へ発信することで就転職関連市場に貢献する事を目的とし立ち上げられました。

就職・転職・働き方・ランキング・働く女性など多数のジャンルで信頼できる情報を発信していくことにより、就転職活動に役立てていただくことや、キャリアに関する不安や悩みを解決する一助として“個が活躍する社会により良い選択の機会”を提供し就転職市場に貢献してまいります。

【会社概要】

会社名	: 株式会社ライボ
設立	: 2015年2月3日
代表取締役	: 小谷 匠
所在地	: 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目19-9 第一暁ビル3階
事業内容	: キャリアや転職に特化した匿名相談サービス「JobQ」の企画・開発・運営
グループ会社	: 2019年3月1日 パーソルキャリア株式会社にグループイン
ホームページ	: https://laibo.jp/
JobQ	: https://job-q.me/

報道関係者様お問い合わせ先 株式会社ライボ 広報担当：堀 雅一

Tel・Fax：03-6416-1760 携帯：080-4193-1810

Mail：masakazu.hori@laibo.jp

※現在主にテレワークでの勤務形態をとっておりますので、誠に勝手ながらお問い合わせは携帯電話かメールにてお願い致します